

3

これまでの取り組み

1

交通安全啓蒙活動

①自転車交通安全教室（道路交通課）

市立小学校全8校において、立川警察署及び立川国立交通安全協会の協力のもと、主に小学3年生を対象として、自転車の乗り方（ルール）を指導する自転車交通安全教室を開催しています。乗車前点検や安全確認の仕方、一時停止場所できちんと停止することなどを学んでいます。



②スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全体験教室（道路交通課）

交通事故の恐怖を直接体験してもらい事故防止の意識を啓発する趣旨で、スタントマンによる体験型の自転車交通安全体験教室を、例年市立中学校一校で開催しています。



③自転車シミュレータ安全教室（道路交通課）

環境にやさしい自転車の正しく安全な乗り方の講習を実施することで、自転車の普及につなげ、市として環境負荷低減を図るためにLINK くにたちにおいて自転車シミュレータ安全教室を開催しています。



④駅前放置自転車クリーンキャンペーン（道路交通課）

毎年、駅前放置自転車問題を広く市民に訴えるため、関係機関等に協力を依頼して、駅前放置自転車クリーンキャンペーンを実施しています。ポケットティッシュ等を配布する駅頭広報や放置自転車の撤去活動を行っています。

① 幼児同乗用自転車貸出事業（子ども家庭支援センター）

平成 28（2016）年度より子育て支援施策として、子育て中の世帯に向けて自転車の貸し出し事業を開始しました。平成 27（2015）年 11 月に白うめロータリークラブより寄贈された 8 台の自転車を活用した事業で、1 年間無料で貸出を行います。

3 人乗り自転車リサイクルインフォメーション（子ども家庭支援センター）

子育て支援策として、3 人乗り自転車を譲りたい方と譲り受けたい方のあっせんを行っています。しかし、譲りたい方からの申し出がほとんどなく実績がないことが課題となっています。

② こども自転車安全体験ツアー（市民団体）

自転車を利用する子どもたちが、安全でかつ他者を傷つけることのないよう、実際にくにたちのまちをスタッフが一緒に走りながら、自転車のルールやマナーを現場で体験し、学んでいます。



③ コミュニティサイクル支援事業（道路交通課）

自転車での市内の移動を促進するため、コンパクトな市域とほぼ平坦な地域特性を活かし、平成 30（2018）年度にコミュニティサイクルの実証実験を行いました。市は、自転車を活用した地域の交通を目指し、平成 31（2019）年度から民間主体で継続的にコミュニティサイクルの支援を行っています。

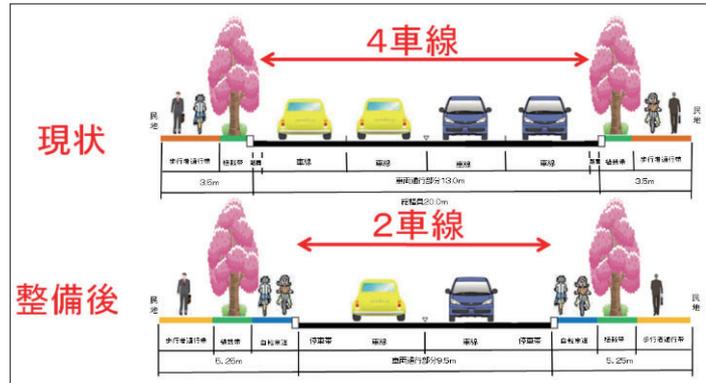


3 自転車走行空間整備

①人にやさしい道路づくり（道路交通課）

4車線あるさくら通り（富士見台第6号線）を2車線にすることで、新たに生まれた空間を利用して自転車道を整備するものです。歩行者と自転車優先の“人にやさしい道”に整備していきます。平成30（2018）年度末で計画の約3分の2が完了しています。

図3-1 さくら通り整備後のイメージ図



②大学通り自転車レーン再整備（東京都）

自転車レーンの舗装の劣化等に伴い、フラワーポットの撤去や自転車走行空間の再整備、維持管理などについて、関係機関と協議を行い、計画を進めています。



③自転車ナビマークの設置（道路交通課）

交通量が多く、通学路などになっている路線で、一定の幅員が確保できる箇所を優先的に、自転車ナビマークを設置しています。



市道西第2条線に整備した自転車ナビマーク